

## 7. 地域共創センターの活動

### (1) 地域共創センターの役割

令和2年度より地域共創センターの事業を更に拡大し、以下の4部会で活動した。

#### ① 地域連携部会

地域との共創の仕組み及び活動のノウハウを生かし、庄内の地域共創の拠点として、社会・地域課題の解決に取り組む。

#### ② 防災・環境部会

自治体、地域住民とともに、環境・防災教育の充実を図る。

#### ③ 産学連携部会

大学と外部機関とのパートナー関係を構築し、産学官連携を推進する。

#### ④ ブランディング部会

地域に根差した研究ブランディング事業での取り組みを継続的に推進する。

### (2) 地域連携部会の各種事業

#### ① ヒアリングおよびマッチング事業

ヒアリングシートを用いて地域からのニーズを把握し、学内のシーズとの調整を行った。令和3年度は64件の依頼を受け付けた。マッチングが成立する各種事業、活動については必要に応じて地域共創センター職員及び地域連携部会会員が実施、協力を行った。

#### ② 「公益教養プログラム FORUM21」、「共創カフェ」各種シンポジウム

教職員、学生を対象に企画募集を行い、地域共創センター運営委員会での協議の上、令和3年度は「公益教養プログラム FORUM21」を5回開催した。また、学生主体で運営を行った「共創カフェ」を1回開催した。

#### ③ 「学生活動支援学生活動支援助成金」、「まちづくりインターンシップ補助金」、「災害復興・地域防災活動支援助成金」の運営事業

「本学の活性化を目的とした学生による自主活動及び学生と地域との地域協働によるまちづくり活動」、「学生による災害復興・地域防災活動を支援するため、災害復興・地域防災に関する活動(被災地・避難者支援、地域防災活動など)」等に関する申請に対し、助成を行った。コロナ禍で、学生の海外での活動はできなかったが、「moreE」による防災に関する勉強会、「ゲートボーラーズ」による地域との交流、「オレンジリボンチーム」による児童虐待防止の啓発活動、「IVUSA」による遊佐海岸の清掃活動など、5件へ助成を行った。

#### ④ サービスラーニング支援事業

学生たちに地域で活動する力をつけてもらうために、地域で活躍する講師を招聘し、学びの場を提供した。学生団体内でのコミュニケーションが活発になるだけでなく、個々のスキルアップにもつながった。

#### ⑤ 地方創生にむけた人材育成事業

学生が庄内地域の企業を訪問、取材をし、若者ならではの視点で地元企業の魅力や地域で働く先輩のライフスタイルを発信した。令和3年度は、8社を訪問しインタビュー取材を実施した。また、庄内地区商工会広域連携協議会との共催で、庄内地域における若者の定着に向けた産学連携事業として「地元企業(工場)見学会」を開催し、ツアー体験レポートを作成した。

記事をまとめ、冊子「ハタラクカタチ Vol. 3」を発行した。本学学生への配布だけでなく、地元高校・近隣大学、商工会議所等へ配付・設置を依頼した。

## ⑥ 受託事業・補助事業

「ボランティアコーディネーション力3級検定業務(酒田市社会福祉協議会)」を受託した。また、補助事業として「地域共創による公益のふるさとづくり推進事業(庄内開発協議会)」の採択を受けた。

## ⑦ 学生及び大学の地域活動等に関する発信事業

地域共創センターで支援を行っている学生の地域貢献活動、「公益教養プログラムFORUM21」、「共創カフェ」、その他委託事業等に関する情報を随時、大学のホームページ、地域共創センターのFacebook、市報、山形県生涯学習センター「山形県生涯学習情報提供システム」等において発信し、積極的な発信を行った。令和3年度は印刷物として、冊子「ハタラクカタチ vol.3」、「Liga 食品ロス削減チーム活動報告書」、「おもてなし隊活動報告書」、「地域共創センターパンフレット」を発行した。また、「ビジネスマッチ東北」へ出展し、大学の教育研究成果を発信した。

## (3) 産学連携部会の各種事業

### ① 共同研究・受託研究の推進

産学連携を目指す研究分野の検討を行い、受託研究・共同研究の推進を行った。結果、受託研究3件、共同研究2件の協定を締結した。

※ I-3. (2) 産学官連携による研究活動の展開 参照

〈受託研究〉3件

- ・海洋白書：笹川平和財団（樋口准教授）
- ・海洋の脅威への法的対応に関する調査研究：笹川平和財団（樋口准教授）
- ・鳥海山・飛島ジオパークのユネスコ世界ジオパーク登録に関する研究：鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会（新名准教授）

〈共同研究〉2件

- ・児童虐待対応に関する共同研究：社会福祉法人本楯たちばな会（灰谷准教授）
- ・酒田市のコンパクトシティ化の検討（再契約）：酒田まちなかプロジェクト株式会社（三木学部長）

## (4) ブランディング部会

### ① 地域に根差した研究ブランディング事業での取り組みの継続

羽黒地区松ヶ丘開墾場の歴史的価値をアーカイブ化する取り組みを、多様な文化資源に適用するための平易な手法の開発に努めるとともに授業にも展開した。また、この技法を適用し、最上川河口の鳥獣保護区の啓発プロジェクトを立ち上げた。

※ I-1. (3) ③地域に根差した研究ブランディング事業での取り組みの継続参照

### ② 受託事業

「地域IT人材等育成事業（酒田市）」を受託し、事業を推進した。

※ I-3. (3) ①地域活性化に資する人材の具体的な育成提案による寄附講座など教育に直結する外部資金の獲得 参照

## (4) 防災・環境部会

### ① 自治体、地域住民と連携した環境・防災教育の充実

※ I-1. (3) ②自治体、地域住民と連携した環境・防災教育の充実 参照